

新五千円札コンテ画

受贈記念講演会

明治時代、津田梅子は津田塾大学の前身である女子英学塾を設立し、女子高等教育の発展に寄与しました。

津田梅子肖像のコンテ画（複製）の受贈を記念し、飯野正子氏（津田塾大学元学長）より、阿賀野市出身の安孫子久太郎や妻余奈子と津田梅子の関わりなど、ご講演いただきます。

ご講演の後には、津田梅子に関わる方々とパネルディスカッションを行います。



日時 2025. 11. 1 (土) 14:00~16:00 (会場13:30~)

会場 水原保健センター2階 研修室 (阿賀野市役所となり)
阿賀野市岡山町10-15

定員 先着180名 (申込不要)



講演会
二次元バーコード



講師：飯野 正子 氏

津田塾大学名誉教授・理事・顧問(元学長・前理事長)

日米教育交流振興財団(フルブライト記念財団)理事(前理事長)、日本学術振興会学術顧問、JICA海外移住資料館学術委員会委員長、三菱財団評議員などを務める。

津田塾大学卒業後、フルブライト奨学生としてシラキュース大学大学院に留学。MA(アメリカ史)取得。

津田塾大学講師、助教授を経て教授。学長(2004-2012年)。

国際カナダ研究カナダ総督賞受賞(2001年)、瑞宝中綬章受賞(2019年)。

研究テーマはアメリカ史(ことに移民史)、日米関係・日加関係、津田梅子など。

《ご挨拶》



津田 守 氏
大阪大学、名古屋外国語大学名誉教授。
津田仙曾孫。

《パネリスト紹介》



津田 道夫 氏
情報科学博士、
津田仙曾孫



小川 真子 氏
機構勤務、津田塾
大学同窓会元理事



加藤 博幸
阿賀野市長

《コーディネーター紹介》



芋川 敏之 氏
春城会副会長

※ 関連イベント：11.2 (日) より 安孫子久太郎に関する企画展を水原公民館市民ギャラリーで開催。

【お問合せ】 阿賀野市民生部生涯学習課文化行政係 TEL：0250-62-5322 主催：阿賀野市



《講演者・パネリスト》



飯野 正子 氏

津田塾大学名誉教授・理事・顧問(元学長・前理事長)

日米教育交流振興財団(フルブライト記念財団)理事(前理事長)、日本学術振興会学術顧問、JICA海外移住資料館学術委員会委員長、三菱財団評議員などを務める。

津田塾大学卒業後、フルブライト奨学生としてシラキュース大学大学院に留学。MA(アメリカ史)取得。津田塾大学講師、助教授を経て教授。学長(2004-2012年)。その間、マギル大学客員助教授、アーケディア大学客員教授、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、プリンマー大学招聘教授などを歴任。

国際カナダ研究カナダ総督賞受賞(2001年)、瑞宝中綬章受賞(2019年)。

研究テーマはアメリカ史(ことに移民史)、日米関係・日加関係、津田梅子など。

主な著書に『日系カナダ人の歴史』(東京大学出版会、1997年、カナダ首相出版賞受賞)、『もう一つの日米関係史——紛争と協調のなかの日系アメリカ人』(有斐閣、2000年)、『エスニック・アメリカ——多文化社会における共生の模索(第3版)』(共著、有斐閣、初版1984年、新版2017年)、

『現代カナダを知るための57章』(共編著、明石書店、2010年、新版2017年)、『カナダを旅する』(共編著、明石書店、2012年)、『日本の移民研究 動向と文献目録』(IおよびII)(共編著、明石書店、2007年)、『津田梅子を支えた人びと』(共編著、有斐閣、2000年)、『エスニック・アメリカを問う』(共編著、彩流社、2015年)、

“Two Sisters, Two Stories: Transnational Lives of Ume Tsuda and Yona Abiko,” Shirley Hune and Gail Nomura, eds. *Through “Our” Eyes: Asian/Pacific Islander American Women’s History* (NYU Press, 2020). など。

《ご挨拶》



津田 守 氏

大阪大学、名古屋外国語大学名誉教授。津田仙の曾孫。

《パネリスト》

【パネリスト】



津田 道夫 氏

情報科学博士、津田仙の曾孫

昭和45年、日立製作所コンピュータ事業部に入社、システムエンジニアおよびソフトウェア生産技術開発に従事。

大阪大学博士(情報科学)。大阪大学や明治大学の非常勤講師。

退職後は津田仙の親族たちの調査研究をする。



小川 真子 氏

機構勤務、津田塾大学同窓会元理事

米国銀行・証券会社等を経て日本年金機構勤務
津田塾大学学芸部国際関係学科卒業

夫:小川富由は新発田高校出身。祖父は安孫子久太郎と同時期、南加農業組合長を務める。

現在、その関係を研究中。



加藤 博幸

阿賀野市長

昭和50年 県立新発田高等学校卒業、昭和54年 麻布獣医科大学卒業

昭和54年 JA全農新潟県本部入会畜産部長、平成27年 退職、令和2年 阿賀野市議会議員(令和5年12月末まで)、令和6年4月 阿賀野市長就任。

【コーディネーター】



芋川 敏之 氏

春城会副会長

元阿賀野市小学校長(平成23年3月～平成29年3月)

歴史冊子『～コラムで綴る～阿賀野市の歴史』を共同執筆し、編集委員長を務める。

現在、阿賀野市人権擁護委員、さくら国際高等学校勤務。